



# 東っ子供り

令和5年7月6日

第7号

大津町立大津東小学校  
校長 太田黒 保宏

これは、自然の家で見つけた“ねじばな  
(モジズリ)”です。百人一首にも詠まれ  
ているラン科の花です！



## 小5 集団宿泊教室

6月29日・30日の1泊2日。5年生は、菊池少年自然の家において集団宿泊教室を行いました。今年も、南小（児童37名）と一緒に、沢山の体験活動を楽しみました。

集団宿泊教室では、友達と関わりながら、自然体験を通して様々な感動を味わいます。様々な“知識”を身に付けている子どもたちは、今回の“体験”を通じて、今後の“生きて働く力”へと変えていきます。つまり、授業やインターネット等で獲得した“間接体験”や“疑似体験”の知識を、この“直接体験”で様々な視点から考え、自らの力へと変えていきます。更に、集団宿泊教室を経験すると、子どもたちの“自己肯定感”や“学習意欲”等も高まり、学力も高くなるという結果も出ています。

今回は、あいにく連日の雨。予定していた沢登り等のアクティビティは体験できませんでしたが、通常の予定よりも2つ多くの体験を追加して楽しむことができました。また、雨の間隙を縫って、夕飯後にはみんなで“山歩き”もしました。（※臨機応変にご対応いただいた菊池少年自然の家には感謝しかありません。）

今回、東小と南小の子どもたちには、いくつもの共通点が見られました。

- ・ 1つめは、夕飯の“カツカレー”に歓喜が湧いたこと。みんな、カレーが大好きです。
- ・ 2つめは、“ニジマスつかみ&調理”を精一杯取り組み、大切な命をいただいたこと。（中々捕まえられず、苦戦していましたが、とても楽しそうでした。そして、ニジマスのはらわたを取り、塩を塗（まぶ）して炭火で焼き、美味しくいただきました。
- ・ 3つめは、どのアクティビティも、心から楽しんでいたこと。色々な仲間とグループになり、とても楽しそうでした。

これから、南小とは、“水俣に学ぶ肥後っ子教室”も一緒に行きます。更に仲良くなって、修学旅行や中学校へとつなげたいと思います。

なお、今回体験できなかった沢登りなどは、菊池少年自然の家の自主事業等で体験できるようです。ご家族等で、楽しい夏の思い出を作られるのもいいかと考えます。



必死に逃げるニジマス  
を捕まえる



みんなでニジマスを頂く



アクティビティを  
楽しむ



できました！山登り！



お別れの時

## 緊急引き渡し

判断の“見逃し”は許されません。“空振り”も  
ありますが、常に人命第一で対応します！



7月2日。大津町では“避難指示（警戒レベル4）”が発令されました。そこで、急遽、午前9時50分に、「10時30分下校」との判断をしました。白川の水しぶきが堤防の高さを越え、阿蘇地方での雨予報も深刻なものとなったためです。

10時にバスキャッチでお知らせし、11時15分には全ての子どもを無事に引き渡すことができました。今回、本校区内では災害は起きませんでした。県内各所で大きな爪痕が残っています。人命第一に、これからも早急な対応を考え、アンテナを張って対応します。

## ニコニコ集会

6月28日に、ニコニコ集会（人権集会）をしました。  
この集会の冒頭での校長の挨拶。

「私は、小学生時代に“いじめ”をしたことがあります。しかし、自分が“いじめ”しているという認識はありませんでした。」  
衝撃的なスタートです。

「親しみを込めた“あだ名”はどこにもあるでしょう。先生も好きなあだ名やちょっと嫌なものまで、いくつか付けられていました。だから、特に深く考えたことはありませんでした。その友達とも、いつも一緒に運動場で楽しく遊んでいたのが意外でした。」

「このニコニコ集会のような集会で、友達が涙ながらに、あだ名を言われて辛いといった思いを伝えてくれました。その時、司会をしていた先生（私）は、友達の思いを知って、自然と涙がこぼれたのを覚えています。〇〇くん、ごめんね。言ってくれてありがとう。」

日常の中には、人を傷ついている瞬間が沢山あります。従って、その一つ一つに気づくことや自分自身を改善すること、また嫌がっている子の立場になって立ち上がることが大切です。

今回の集会では、他人事（ひとごと）ではなく、自分事として子どもたちが臨み、思いを語りました。とても温かな気分になりました。発表へのお返しは、次のようなものでした。



体育館合唱「にじ」



1年生 “かお”



6年生 “差別をくすななまになりたい”

「1年生は、自分のことを素直に言えていて素晴らしかったです。」

「2年生は、自分の悪いところを認め、変わりたいというのが凄かったです。」

「(3・4年の発表から) 自分の気持ちを伝えることは大切だと思いました。」

「(5・6年の発表から) おかしさに気付くことが大切だと思いました。」

本当に大切なことは、これからの“自分の行動”です。子どもたちの様子から、更に楽しい東小になることを確信しました。

## ゲストティーチャー招聘

本校の課題“表現力 UP”を考えたゲストティーチャー（GT）招聘の様子を紹介します。

### 【“表現力”をつける体験編～パート2】

熊本市の劇場を中心に、テレビ等で活躍中の“劇団きらら”さん。

6月25日は、“CMを作ろう！”をテーマに、3年生以上が5つのチームに分かれてCM作りをしました。某ハンバーガー店や葬儀社、扇風機、ピザやそうめんの販売のCMです。

中間発表。

「ムリムリ。おぼえてねーッ。」

自信なさげな子どもたちも、他のチームの発表を見て、俄然やる気に火が付きました。発表会（本番）では、とても面白い力作が揃い、笑顔が溢れました。発表ができた充実感、発表を聞いてもらえた満足感など、様々な思いが溢れました。

「ミスも笑いに変えていたのが良かったです。楽しかったし、凄いいました。」

「ちょっと緊張したけど、発表できて楽しかったです。」

アイデア抜群の子どもたち。貴重な体験をここで終わらせてはいけないと思います。これから、活かしていきます。



最新！扇風機のCM



どんな葬儀社がいいの？

大津東小ホームページもご覧ください！

大津東小学校 検索

